

# おかも発! 国際貢献

## ODA実施をサポート

### ② 国際協力機構(JICA) (東京)

岡山県デスク 横山 明子 さん



# 支え、つなげて、広げる世界

国際協力機構(JICA、東京)は、貧しさなどの理由で困っている国の人々の生活を良くするために行われる政府開発援助(ODA)を行う団体の一つです。世界約90カ国に拠点があり、国内には15の支部などがあります。支部の一つ

JICA中国(東広島市)で、岡山県デスクを務めているのが横山明子さん(38)＝岡山市＝です。JICAの国内での業務は大きく五つあります。開発教育▽ボランティア事業▽草の根技術協力▽中小企業海外展開事業▽研修事業

です。開発教育は、国際協力について多くの人に知ってもらおう仕事で学校や公民館などに出向いて講座を開きます。岡山県デスクには年間約50件の依頼があり、私は約半分で講師を務めています。

東日本大震災が起きた年、日本は先進国でありながら世界最大の「被援助国」になりました。講座では、こうした事実などを伝えながら、国際協力とは「貧しい人びとを助けること」ではなく「世界のひとと対等に、助け合って生きていくこと」だと伝えていきます。

### 横山さんのあゆみ

愛知県東郷町出身。小学5年生から2年間、親の仕事でタイに住んだことで、国際協力に興味を持ちました。東京外国語大タイ語科を卒業後、開発コンサルタント会社に就職しタンザニアなどで支援活動に携わりました。国際医療ボランティアAMDA(アムダ)に移った後、2015年からJICA岡山県デスクを務めています。

### JICA(ジャイカ)

ODAを進めるため1962年、海外技術協力事業団(OTCA)ができました。OTCAは74年、国際協力事業団となり、2003年に独立行政法人として国際協力機構が誕生。08年、国際協力銀行の一部業務などを統合して現在のJICAになりました。

講座だけでなく、海外で技術支援などを行うJICAボランティアのサポートもしています。岡山県からは現在、延べ33カ国に47人が派遣されています。定期的に連絡を取り合い、気持ちよく活動できる環境づくりを進めています。

大きな事業を進めるには、支援する「プレーヤー」だけでなく、たくさんの方が活躍できる環境を整える「サポーター」が欠かせません。「いろいろな人となつなごることで世界が広がる。『支援業務』の楽しさです」

(柴田浩典)

JICA国際協力出前講座で話す横山さん＝2016年5月、環太平洋大

